

リリースノート

2020年07月18日

AtomOS 10.51

NINJA V



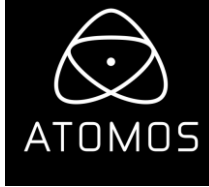
新機能

Atomos USB to Serial ケーブルを使用し、Z Cam カメラ制御機能がご利用頂けるようになりました。

- ・ Camera control メニューを使用し、Ninja V のタッチスクリーンから Z Cam のメニュー画面を呼び出すことができます。
- 注釈：HDMI から RAW 収録を行っている時にはカメラコントロールメニューはご利用頂けません。
- ・ Menu ボタンを押し、ナビゲーションを使用しますと、Ninja V の画面上でカメラメニューが表示されボタン操作が行えます。
- ・ Record メニューで Record Display Info を適用しますと、Ninja V で映像収録時でもカメラメニューをご利用頂けます。

AtomHDR モニタリングサポート

- ・ ProRes、DNx 収録用に AtomHDR エンジンに Z Cam Zlog2 Gamma を追加しました。
 - HLG、PQ モニタリングモードにより、露出補正を行うことなく Rec.709 の 6 ストップの制限を超えてダイナミックレンジを拡張することができます。
 - ネイティブモードでは Zlog2 をネイティブの圧縮 log 形式で表示することができます。
 - 規制の Zlog2 3D LUT を閲覧用に結び付けられます。
 - Rec.709 適用は Rec.709 に変換しクリップされたハイライトを表示します。
 - LUT モニタリングオプションは、選択した 3D LUT を画像に適用して表示されます。
- LUT は、波形モニターの結果にも適用され収録時やループアウトに適用することができます。



- ・ Zlog2 はフルレンジで出力・収録し、ノンリニア編集ワークフローとの設定を合わせる必要があります。
 - ノンリニア編集ワークフローでリーガライズレンジのフッテージが必要なときには、リーガライズオプションを log に適用することができます。
 - このワークフローでは、HLG や PQ モニタリング機能はご利用頂けません。
 - このワークフローで 3D LUT を使用するには、LUT の入力レンジがリーガルに定義されている必要があります。

バッテリー残量警告

- ・ 別のポップアップメニューでカメラや Ninja V のバッテリー残量が少ない時に警告します。

AtomOS 10.51 (Ninja V)のその他の変更点

修正：

- ・ Rec.709、HLG、PQ モードでモニタリング時に、波形モニターが方眼目盛りに改良されました。
 - ・ トップの情報バーにモニターモードの LUT が誤って表示される問題が修正されました。
 - ・ AtomX SYNC デバイスの名称ルールを変更しました。
 - ・ 再生時のファイルブラウザのパフォーマンスを改良しました。
 - ・ AtomHDR の AutoHDR 機能の互換性で Ninja V が断続的にフリーズする問題を改良しました。
-